

# 乙女高原が好き！0804号

アンケートと反省会からみた

2008.11.23.

## 草刈りボランティア2008

坂田 英明(乙女高原ファンクラブ代表世話人)

今年も11月23日に乙女高原最大の行事「草刈りボランティア」が無事行われました。出席された皆さんのアンケート結果とその後の反省会の検討内容の要約をお知らせして全体の様子を感じ取っていただきたいと思います。

なお、今年は3連休の中日であった為に出席してくれるボランティアが少ないのではないかと心配されましたが、予想以上に多数の方々が協力してくださいました。公式記録によると草刈り参加人数はキッズを除き205名でアンケート回答枚数は105枚でした。当日は天気が素晴らしく良く、気温も11度程度まで上がり、草刈りとしては最高の日和でした。

最初の質問は、「あなたのお住まいはどちらですか?」と訪ねていますが、県内からの参加者が81%、東京から7%、神奈川から6%、残りは埼玉県、千葉県、静岡県などからわざわざ参加して下さっています。この傾向は毎年同じようで、近県からも毎年参加してくれています。また山梨県からの参加者で最も多いのはもちろん山梨市の方々に約半数、残り半分は県内11の市町村からの参加でした。

「年代、と性別」の問い合わせでは、50才以上が半数を超えて56%、残りは10代の若者から40代の壮年まで万遍なく、且つ男性が67%女性33%という結果でした。

「乙女高原の森を訪れたことが何回ありますか?」という質問には初めての方が15%、5回以内の方が43%、10回までが13%、11回以上が29%でした。

「乙女高原草刈りボランティアに参加したことはありますか?」との問いには、なんと一度も参加したことのない方が31%、3回以内の方が37%と両者を合わせると全体の2/3を占めていました。

「草刈ボランティア以外の催し」の参加回数は、1回も参加したことがない方が34%、5回以内が44%を占めていました。この結果では草刈りそのものが皆さんの楽しみになっている事が良くわかります。ただし、上記3項目の参加回数などの調査では、地元の「財産区」や「保護組合」の方々が時間的な制約もあった為か、あまりアンケートに参加されていない様子で実態は少し異なるものと考えられます。

次に「草刈りについての満足度とその理由」を問い合わせていますが「満足・やや満足」と答えた方が70%に対し、「不満・やや不満」と答えた方が7%でした。

「満足」と答えた理由と「不満」と答えた理由をそのまま下記に記録してありますのでご覧下さい。

### 満足関係理由

きれいに刈られた高原はきもちいいなアと思った。  
天気も良好・グループ参加のため。

きれいになって、きれいに切れました。  
大勢の作業楽しかった。快晴でよかった。





参加者が例年より少ないと思える。段取り（指示系統）がやや不十分。

他に経験ないので。  
 大勢で作業が早く終わり。  
 夏の花が楽しみです。  
 豚汁最高。  
 自分のためにもなったので。  
 進行が代役で大変だったでしょう。  
 昨年よりやや仕事量が多く充分働いた感じがするから。  
 鳥の巣や動物のフンなど観察しながら草刈りができた。  
 天気も良くキッズと楽しかった。  
 子供に草刈りに参加させたこと。  
 空気はうまいし天気は良いし豚汁は旨いし最高でした。  
 作業のあとの豚汁が最高においしかった。  
 大勢ですると短時間で作業が終わる。

楽しめました。  
 乙女高原を守るため。  
 有意義な1日がすごせた。  
 トン汁がうまかった。  
 皆の協力。

#### 不満足関係理由

人数が例年より少なく、草運びがやはり時間がかかった。  
 協力態度を全体に広めて欲しい。  
 全体の流れがうまくいってなかった。  
 いまひとつまとまりがなかったかな！？  
 豚汁にすいとんを入れてほしい。またはホウトウにしてほしい。  
 昼食時ブルーシートがなかった。

設定時間や作業の説明進め方、またスタッフの対応など十分でしたか？には十分が47%、まあまあが43%でしたが、不十分と答えた方が10%もあり、進行役の力不足が明確となりました。

#### 良くなかった理由 = 改善点など

次に何をするのかの指示が判りにくい。  
 全体のバランスの様子を見てしっかりとってほしかった。  
 第一の作業終了後、次の作業への移動が不明瞭である。  
 草を捨てるシステムが考慮の余地あり。  
 キッズのハイキングの時間をもっと早い時間にしてほしい。  
 危険なことは、もっと繰り返しアピールすべきです。  
 作業人数がわからないが刈り払い作業平均に。  
 仕事を探しながらあちこち行きましたが、最後の方は結構することがなくなっちゃったかな？

段取りが悪い（役割分担が不明確）  
 作業進行の説明不足。  
 刈取った草の運搬  
 全体への伝達が弱かった。  
 朝の会の始まりが遅い、ガラガラ

草刈りイベントにはまた参加したいですか？との問にはしたいと答えた方が82%でしたが、したくないと答えた方も3%ありました。

#### 印象に残ったことは何ですか？

美しい所・皆の協力する心。  
 みなさん よくやっていたと思います。  
 富士山がきれいに見えた草原での食事おいしかった。  
 天気もよく楽しい1日だった。来年も参加したい。  
 縄のしぼり方など、知恵が生きていること。  
 良い所ですね、自然保護がんばりたいです。  
 草の中で小鳥の巣が見つかったこと。  
 大勢の力は大きいです。すばらしい事です。  
 今日早く草刈りが出来たような気がする。  
 皆、一生懸命作業している姿が印象的でした。  
 ボランティアの人数がたくさんいること。  
 三連休の中日なのに良く集ったなあ。  
 もうしなくてよいと思います。  
 草を刈った後のそう快感。  
 自然の良い場所で、もっとアピールする。  
 こんな多くの人々が休日に集ったこと。

頂上から観た富士山。  
 またやりたい。  
 人の力はすごいですね！！  
 きれいに刈り良かったと思う。  
 お日さまが印象に残った。  
 皆様よくやりました。  
 雑木が少なくなったこと。  
 乙女の美しさ、雄大さ。  
 富士山がきれいでした。  
 皆でやれば楽しい。  
 参加人員の多数の事。  
 富士山が良かった。  
 富士山がきれいだった。  
 豚汁最高  
 トン汁がおいしいです。  
 草集め。

きれいだった。

ススキが多い。

始めの草の量と、刈った後のきれいなところが印象になりました。

観光縁切として、レンゲツツジ又はアヤメの植苗が良いと思う。

草丈が高くいつもより時間がかかったようです。田丸さんには大変感謝です。

すごい勢いで草刈りが行われたこと。トン汁もおいしかったです。

草原の維持は大勢の人々の力によって保たれていることがわかった。

今日は天候もよく富士が映えて良かった。また、久しぶりに会うことの出来た人がいた。

例年より参加者が少ないようですね。多く参加する工夫をしてはどうですか。

今回の草刈りプログラムについて、また、乙女高原においてやって欲しい催しなどについて、ご意見やご要望などありましたら、ご自由にお書きください。その他なんでも(気がついたこと、独り言など)ご記入ください…については以下の様なご意見や感想を頂きました。

前年より人数が少なかったと云いますが、他の団体にも呼びかけて見ては？

ボランティアの作業など新聞・テレビ・ラジオなどで県民に知らせて欲しい。

日頃お世話になっています。今日は皆さんと一緒に汗をかいてよかったです。また都合がつけば手伝いたいと思います。うちのHPでも積極的に乙女高原ファンクラブのPRに協力していきたいと思います。

昨年は人数が多く、もっと活気があった気がします。私は自然監視員ですが去年は20～30人が参加していました。県からのバックアップがなかったのでしょうか？

CATVテレビ放送を地元としてアピールして欲しい。知らない人が多すぎる。

とても楽しかったです。部活で乙女高原や山梨県にお世話になっているので少し貢献できたのがうれしかったです。

水洗トイレを完備してください。塩山からの臨時のバスを出して欲しい。

ハイキング・軽運動会・自然探訪会

草を歩道に置いた後、草原を皆歩いていたが、草を踏んで歩道を歩いていただきたい。

何十年振りに来れた。子供の頃の視点とまた違う観点でみる乙女高原、富士山を見てとても良かったです。

もっと寒いかと思いましたがとても暖かく空気がとてもさわやかでとても良かったです。主人が役員で来たのでたまには山へも行ってみようと家族5人で来ました。働いた後の屋外昼食は格別でした。

これだけの人が協力しようとしてくれることがすごいと思いました。愛されているのですね。

朝見に来た時とは打って変わってきれいに草刈りしたあとを見て気持ちよくなりました。ビニールシートで草をはこぶ時、うすいグリーンの制服をきた方が手助けしてくださりとても助かりました・豚汁もおいしかったです。

ファンクラブにスタート時点で入会していた。名簿に載せておいてください。今後も生まれた赤柴を中心に活動します。

今、FCの一員なので情報をいつもいただいています。

市長が先頭になってやるが大変意義があると思います。今後も期待します。

以上アンケート内容をほぼそのまま披露させて頂きましたが、今回の草刈りをアンケートの答えの中にあつた一文を引用させて頂いていただいで総括すると、「空気はうまいし、天気は良いし、豚汁は旨いし、最高でした。」に尽きるものと考えます。

なお、その後の反省会では峡東林務事務所の皆さんや山梨市の皆さんにも出席いただいて以下について検討され、次回に反映することになりました。

- (1) 刈り払い機作業のあり方及び安全確保に関する意見が多数出されて来期の安全作業方法の確立方法について。
- (2) ロープの撤収作業のために手刈り班から人数の投入方法について。
- (3) 草の運搬用シートについて。
- (4) 刈った草を山の中に入れる場合の入れ方や指示担当者について。
- (5) 手刈り班の一部が作業途中で富士山を見に行っているが適当ではないとの意見。
- (6) キッズ班の作業内容について。
- (7) 午前中で作業終了とした判断の是非について。

# 乙女高原草刈りボランティアに参加して

井上 敬子（第4期乙女高原案内人）

今年度案内人となり、草刈ボランティアに初参加、しかもスタッフとして参加することになりました。ところが、ちょっとしたトラブルでスタッフ集合時間に遅れてしまい、高原に到着すると、すでに駐車場では係りの方が誘導をしていました。急いでロッジ前に行くところにも受付が始まっており、すぐ受付の手伝いを始めました。ボランティアの人たちが続々と集まってきて、ロッジ前はかなりの人数です。

始めの会では、市長さんの話があり、山梨市をあげてこの乙女高原を守っていこうという方針があることを感じました。日程説明や諸注意があり、作業班ごとに分かれて確認や注意があり、草原のあちこちに移動をしていきました。

案内人はキッズの担当でした。当日参加した子供たちは20名ほどです。名前の確認をして、ガムテープで作った名札を胸に、駐車場近くの草原に移動しました。草原に入るともう子供たちはわくわくして、早く作業をしたいという感じです。鎌の使い方の説明や諸注意をして草刈り開始。草原のあちこちから草を刈る機械の音も聞こえ始め、子供たちも嬉々として鎌を手に枯草に向かっていきます。

遊歩道から車道に向かって、横1列に広がり、刈り始めました。うまくできない子にはスタッフが教えながら、進んでいきます。鎌を上手に使える子もいて、徐々に車道の方に近づいていきました。ススキの大きな株や小木などには苦戦する子もいましたが、大人が手伝いながら進み、後ろには刈った草の山が出来てきました。

車道近くまで行ったので、今度は運び出しです。ブルーシートに草を乗せ、数人でシートを引きずって車道へ運びます。そのように子どもたちも楽しそうです。車道脇に草の山が出来上がった所でその山に登って滑り降りたりして遊んだり、その草をトラックの荷台に積んだり、おやつタイムをとったりしているうちに、草刈り機の人たちが上からどんどん進んできて、辺りはすっかりきれいになりました。



そこで子どもたちは、展望台へ富士山を見に行くことになりました。大人は子どもたちについて行く者や後の始末などをする者に別れて、残った者は草を遊歩道に運んで広げたり、草の置き場まで運んだりしているうちに昼食時間となりました。

ロッジ前では担当の人たちが大鍋に大量の豚汁を作ってくれていて、それを各自盛ってもらい、舌鼓を打ちながらいただきました。働いた後の豚汁のおいしかったこと、もちろんおかわりをしてしまいました。

昼食後、きれいになった草原の真ん中で写真撮影です。200名もの集合写真。顔がわかるのだろうかと思いつつ、でもみんないい顔で写真に収まったと思います。

## 【コラム】

### 草刈りへの参加者数

第1回 2000年	198人
第2回 2001年	204人
第3回 2002年	190人
第4回 2003年	194人
第5回 2004年	221人
第6回 2005年	206人
第7回 2006年	236人
第8回 2007年	267人
第9回 2008年	218人

その後、分かち合いということで、各グループの代表が感想など発表しました。楽しい一日だった、きれいになってよかったとの感想がほとんどでした。私自身も初参加でしたが、ほんとうに多くの人々に乙女高原が愛されていることや、いつまでも美しい草原として残していきたいという多くの人々の思いを感じることができました。また、みんなで一つのことに取り組み、草原が見違えるようになった充実感もありました。

このきれいに刈られた草原は冬に向かい、雪の布団をかぶって静かな時を過ごし、そして春にはサクラスミレやハルリンドウが可憐な花を咲かせるのだなと思いつつ、高原を後にしました。この自然を守っていくために、自分も微力ながら関わっていきたいと思います。

# 乙女高原案内人の会 反省会 2008 (メモ)

日 時 平成20年12月6日 AM10:00~12:00

場 所 山梨市市民会館4階会議室

出席者(敬称略) 古屋、植原、芳賀、津野田、駒田、宮川、岡崎、  
内藤、臼井、鈴木、三枝、坂田(まとめ)

## 反省会の内容と来期計画について

今年1年間の案内人の会として実施した行事について反省と来期に実施する際の留意点などに関して意見交換を行い、合わせて来期計画(案)について話し合いが行われた。

### 【活動した内容と反省点】

牧丘第二小学校、第三小学校の自然教室

・今年度は例年行っていた第一小学校は八ヶ岳に変更となり、新たに第三小学校が対象となった。

・小学生に対する案内人活動の難しさについて、内藤さんの経験談が披露され、植原さんから「相手とキャッチボールをするつもりで、質問を入れながら行くと良い。」とコメントがあった。

塩山高校における「乙女高原の自然」講義

・高橋さんと加藤さんが昨年同様に実施した。高校生の場合は小学生とは別の難しさがあるが、基本的には小学生の案内と同じスタンスであるとの話がなされた。

夏休み期間中の土曜、日曜日におけるインタープリテーション活動

・今年の実績は案内人が述べ人数で115名出席し、347名の案内を行えた。やはり花を観に来る人が圧倒的に多数の様子であった。

・案内人活動の手法の話し合いが以下の様になされた。

1. ガイドスを行い参加してくれた方々には印刷予定のパンフレットを配るなどしたらどうか？
2. 今年原さんが行ったように貸し出し用のパンフレットを準備したい。
3. 案内する場合のマニュアルを準備したらどうか？
4. 乙女高原の様子を見て貰う為のアルバムがあったらよい。

### 【今日の反省会についての反省意見】

・反省会への出席者が非常に少ない。

・もっと参加してもらうため日程的にはこれでよいのか？

・この反省会が案内人の会の最終決定機関であることを何らかの形で明らかにする必要がある。

・定例の世話人会が行われた後、案内人の会の世話人会を開いているがこの事も皆さんにアピールして出席を促す必要がある。

### 【その他】

・案内人同志の懇親を深め、行事に積極的な参加を呼びかけるため夏のキャンプは有効であると考えられる。来期は計画したらどうか？

## 反省点を踏まえた来年度計画の原案と担当者について

牧丘第一小学校、第二小学校の自然教室(担当:内藤さん, )

要請があると考えられるので従来通り実施する。

塩山高校における「乙女高原の自然」講義

要請があれば対応したい。(担当:植原さん, )

夏休み期間中のインタープリテーション活動

訪問者への対応可能なメンバーを確保して今年度同様に実施したい。(担当:坂田, )

案内人キャンプ(担当:三枝さん, )

案内人同志の懇親を深め行事に積極的な参加を呼びかけるため夏のキャンプを計画する。

案内人反省会(担当:村田さん, )

例年並に年度の反省会と来期計画(案)の作成を行う。

# シカが乙女高原の自然を変える？！

寒いけど、とてもいい天気でした。今日のこのフォーラムのために、市から6人、県から5人、ファンクラブから24人、計35人がスタッフとして集まってくださいました。11時に集合して全体で打ち合わせをし、係ごとに打ち合わせをした後、分かれて準備作業に取りかかりました。

定刻の午後1時。竹居さんのアナウンスでフォーラムがスタートです。まず、塩山高校放送部が作ってくれたビデオ作品を見ていただきました。高校生の皆さんがファンクラブの活動取材し、5分の番組に仕上げたものです。若い感性で、上手に編集してあるなあと思いました。

里吉さん(市)司会による開会行事では、中村市長さんと渡邊峡東林務環境事務所長さんからあいさつをいただきました。



草刈りといい、フォーラムといい、必ず駆けつけ、主催者としてごあいさつくださる中村照人山梨市長さん。

## プログラム1 活動報告と「乙女のシカ」問題提起

植原がプロジェクターの写真を活用し、乙女高原での1年間の活動の様子を紹介しました。遊歩道作り 乙女高原案内人養成講座(第4期) 乙女高原案内人の活動 マルハナバチ調べ隊 アサギマダラ調べ隊 草刈りボランティア…の6項目です。

次に乙女高原のシカの現状について 減っている草(アマドコロ、オオバギボウシ) 増えている草(ハンゴンソウ、マルバダケブキ) 新たに食われている草(クガイソウなど) 幹や枝の皮を剥がされている樹木…という項目で報告し、シカの痕跡(糞、角研ぎ跡、足跡)について説明しました。こういったものを覚えていれば、山林でこれらに遭遇した時に「あ、ここにはシカがいるな」ということがわかるからです。

## プログラム2 乙女高原のシカ今昔物語

- シカ猟50年以上という古屋さん(ファンクラブ代表世話人)から、こんなお話を聞きました。
- 乙女高原周辺は過去も現在もシカ猟の行われるエリアである。自分たちの猟のなわばりのようなものだ。
- 今は山奥ばかりでなく、里山にもシカがいるので、近くで猟ができるようになった。
- 猟は冬季に行われる。雪が降ると足跡の確認ができるので、雪が降ると猟のシーズンだ。
- 犬を連れたセコと呼ばれる人たちがシカを追い出す。タツマと呼ばれる人が銃を持って獲物が来るのを待つ。セコが1発撃つのは、追い出している時、2発撃つたら「(シカが)出たよ」という合図。
- 戦後当時は林道などないので、歩いて猟に入った。猟場に到着するまで3時間も歩かなければならなかった。
- 猟はシカの寝ている場所(ネヤ)を探すことから始まる。昔は、かなり奥まで行かないと、シカには会えなかった。ネヤのどこにシカがいるのかわからないが、シカの痕跡から、どのネヤにいるか推測した。
- 当時はシカは少なく、貴重な存在だった。
- 昭和30年代になると、猟具もよくなり、林道も整備され、シカが逃げても、林道を先回りできるようになった。
- 最近、シカが増え、いろいろなところで目撃されるようになった。
- 有害獣駆除ということで、1年中、シカをとることができるようになった。1日に10頭以上しとめたこともある。
- 牧丘地区の狩猟者は、多い時で150名いたが、今は40名。日本全国で狩猟者が減っていて、それはシカが増える一つの原因になっているのではないか。

## プログラム3 シカが増えたらどうなるの？

いよいよ今回のフォーラムのメイン・星野さん(東京農工大)のお話です。ファンクラブ代表世話人の坂田さんがプロフィールを紹介したのち、お話いただきました。

- 全国的にシカが増えている
- 環境省の調査によると、過去25年間で、シカの分布域が1.7倍に広がっている。
- 増えてきた原因として、捕食者であるニホンオオカミの絶滅、森林の伐採(森が伐られると、そこは草原状になり、一時的にエサが増える)、温暖化による積雪量の減少(シカは雪が苦手)、狩猟者の減少などが考えられる。
- シカの害は農林業だけでなく、森林などの自然生態系、草原などの半自然生態系にも見られるようになり、国立公園・国定公園でも被害が広がっている。

- シカは1日に1kg程度のエサを食べる。このことから1日に1頭あたり10㎡の森林や草原が必要となる。
- 好き嫌いはあるが、いろいろな植物を食べている。

### 奥多摩におけるシカによる植生被害（80年代と現在を比べて）

- 奥多摩の西側（東京側）で特に生息分布域が広がり、密度も高くなっている。
- 奥多摩の亜高山帯のコメツガ帯では、森の下に生えていた木や草がなくなり、すっきりした林になった。コケが生えているくらい。オオカメノキやマユミ、カニコウモリなどが減少した。だ。増えたのはヘビノネゴザなど。
- 防火帯の草原は乙女高原に似た景観で、いろいろなお花が生えていたが、ワラビ、マルバダケブキだけになってしまった。これらはシカが食べないもの。それから、小さくて、シカが食べにくいものも残った。
- ササ草原では、ササは残ったが、他の植物は減少した。
- シオジ林の林床にはオシダやウワバミソウなどがあったのに、それらが消えた。
- ミズナラ林では、シシウドやオオバギボウシなどがあったのに、まったくなくなってしまった。
- ブナ林では、林床のスズタケまで食べられてしまった。場所によってはスズタケが無くなったことによって、表土が流されてしまったところもある。
- 減少した植物は、特に中・大型の草と低木が多い。これらはシカにとって食べやすい植物である。
- 減少している植物たちの絶滅リスク（絶滅する恐れ）を計算したところ、ユキザサはこのままでは2030年に絶滅確率100%、シロバナエンレイソウでは2050年、レンゲショウマ2030年、コオニユリ2020年、コウリンカはロゼットを作って生き残れそうなのか2090年という計算結果が出た。
- 奥多摩では狩猟もしているし、防護柵も作っている。



今回のゲスト・東京農工大学農学部  
の星野義延さん。奥多摩地域のシカ  
による植生変化を調査研究。

### 乙女高原の現状

- 今年、乙女高原、櫛形山、三窪高原、霧ヶ峰など11箇所の山地・亜高山高原で植生調査をし、80年代の調査結果と比べてみた。
- シカの糞粒を数えてみると、11地点の中ではシカの草原利用度は少ない。
- 乙女高原での調査で出てきた植物は1987年75種、2008年84種。このうち、80年代には見られて2008年に見られなくなった種は18種、80年代にはなかったのに2008年に新たに見られた種は27種。
- ホタルサイコ、コウゾリナなど比較的大きな草は減少。ヘビノネゴザ、ヤマアワなどは増加。シカの影響が始まっているのではないかと思われる。
- 乙女高原は11箇所の中で最もこの20年間の種組成の変化が少なかった。
- 櫛形山や大菩薩などは20年間で種多様性が低くなった。車山や乙女高原は逆に種多様性が高くなっており、現在の多様性指数は11箇所の中では乙女高原が最も高い。草原の管理作業が利いているのではないか。

### 草原へのシカの被害

- 草原で見つかった糞粒数と植物の種数の増加率の相関を調べてみると、糞粒数がある一定以下だったら、増加率は高くなったり低くなったりするが、ある数値を超えるとグンと減ってしまう。ある程度シカがいると、踏みつけや採食によって、草原にある程度の攪乱をもたらす、それが多様な植物が生える条件をもたらすが、それが大きすぎると、全体にダメージを与えてしまうことが原因だと考えられる。

### もし、このままシカが増えたらどうなるのか？

- 植物たちが減少し、土壌流失まで起こるようになってしまったら、取り返しがつかなくなるだろう。
- シカが増えると、植物の種組成が変化する（減る種、増える種がある）。
- また、下草がなくなる・シカの背が届く範囲の木の葉が食われるなど、階層構造も変化する。単純化する。
- すると、それらが、昆虫や鳥や他の動物たちの生存にも影響を与える。
- 対策としては、シカの個体数を減らすこと。狩猟が必要だが、狩猟者は数が減っているし、高齢化が進んでいる。
- 里にもシカは現れ、狩猟できるようになってきたので、猟師が山奥まで入らなくなってしまった。
- もう一つはシカが入らない場所を作ること。保護柵だ。植物が減る前に「予防的に」行う必要がある。
- ススキ草原は残りやすいので、まだチャンスはあるし、事実、とてもいい状態で乙女高原の草原は保たれている。
- 柵は景観上良くないが、小さなものでいいので、応急処置として作り、残したい植物群落を確実に残したい。

#### プログラム4 質疑応答・意見・情報交換

フロアの皆さんから質問や意見を出していただきました。

甘利山倶楽部の方より柵についての質問があり、星野さんから「大きな柵を作ると、シカをほかの場所に誘導することがあるかもしれませんが、今、奥多摩でやっているのは比較的小さい柵です。一辺が15メートルか20メートルです。植物の絶滅を防ぐための柵です」とのお話がありました。



今回もフォーラムの関連イベントとして山梨市民会館ロビーで「ようこそ乙女高原へ」展を行いました。アサギマダラ調べ隊や乙女高原のシカ、草刈りボランティアなどのパネルを展示し、見ていただきました。

春日居の森林ボランティアの方から、アメリカでシカ害を減らすためにオオカミを放したというテレビを見たがというご意見がありました。星野さんから「アメリカやヨーロッパではオオカミという捕食者を生態系に入れて、コントロールしようとしている事例はあります。日本でもそれを提唱する研究者がいますが、いろいろな課題があって、それらをクリアしていかないと難しいと思います」との答えでした。

そのほかにも、いろいろ意見が活発に出されました。

閉会行事では、ファンクラブ代表世話人の古屋さんからお礼のあいさつ、同じく坂田さんから諸連絡があり、フォーラムの全日程が終了しました。

すぐに片付けを始め、片付けが終わったところで、星野さんを囲んだ、これも内容の濃い茶話会を行いました。全部が終了したのは4時半ころでした。

## 2008年度総会 & 座談会

3月15日(日)午後2時～

2008年度の活動を振り返り、2009年度の活動計画について話し合う大切な会です。

会場は牧丘総合会

館。山梨市牧丘町窪平の花かげホールや花かげの湯の東下に見える建物です。開会は2時ですが、会場準備は1時半から。「準備を手伝ってもいいよ」という方は時刻までにおいでください。

同封の出欠ハガキを(できるだけ)すぐに出してください

総会は委任状も含め普通会員の半数以上の出席がなければ成立しません。現段階で都合がわからないという方は、とりあえず 欠席+委任状 で結構ですから、忘れないうちにお出してください。欠席ハガキを出されても、都合がいたら、ぜひご出席ください。多くの方が参加してくだされば、より有意義な会にすることができます。

世話人に立候補してください

乙女高原ファンクラブの運営を中心に行う世話人は任期が2年。2008年度末で現世話人の皆さんの任期が切れます。今回の総会で新しい世話人を決めます。世話人は立候補制。会員であればどなたでも立候補でき、総会で承認されれば世話人です。乙女高原ファンクラブを安定して運営するために、ぜひ、お力をお貸しください。世話人に立候補してください。

### 乙女高原ファンクラブへの連絡先

【事務局】植原 彰(方) 〒404-0013 山梨県山梨市牧丘町窪平 1110-3  
TEL/FAX 0553-35-3682 電子メール otomefc@kcnet.ne.jp  
会報への原稿や写真等の投稿もこちらにお送りください。  
WEB <http://www.kcnet.ne.jp/~otomefc/>

郵便振込 (番号) 0220-8-71093 (加入者名) 乙女高原ファンクラブ

前号の会報(10.1発行)は「0803号」のはずなのに「0804号」としてしまいました。お詫びし、訂正します。